阜月

半山 頁八共刊夕朝日本

ルン來性によればカーチンは廿二

が後端民は政府の勝點はかり名 ではしい、報事を経觸するにもまつ武器が必要ではないか、前 まつ武器が必要ではないか、前

太平洋の事態郵道の気配に依え 銃後滅民は政府の勝點はリスポン廿三日同盟 番州國民一日つぎの通り図民に訴へた

政府ばかりを咎めるな。

カーチン豪首相の泣き言

野のののおけ、過去半歳北門の渡りに任じてゐたわが海軍(北方部隊)さ六月八日遠く米領アリューシャン列島を 急襲したのである、水波線を衝いてわが 糠艟は故國を 隔たる二千浬、 ここはまだ春淺潔を強く重く 簡繁の違は うねりにうねつた、狂戦怒濤の名に 値する北洋の関いのは、東西のの島にて廿四日齋藤(信)海軍報道班員發】【アリユーシャン列島〇〇島にて廿四日齋藤(信)海軍報道班員發】



送電(紫海海洋温湿)士勇隊部陸上つ待を撃進の次・下の旗軍海

この海の雕物は純粋を五十メートルからせいく一百メートル位にし める、中乳にあやまつて飄インキを落したやうなくすんだ鰯である。中乳にあやまつて飄インキを落したやうなくすんだ鰯のことで てしまふ、航海の舌心は南海に目除する、外域に防寒間、フェルト 安の見張りをやる、水配近く駹くやうにしなければ艦艦からで 五月〇日 北の群は實際なろしい、曲轍も順もない』と士 郷報がしきりに吠える、ガスとは揃く

> やうに煙をぶちます、咽吸も凍り脳のハンド が持てなする實際冤狂ひ波なんです。

ル (手摺) は水で

めつたので高級収責が多要機能してをり、七世のくせ この〇〇儿はかつて 輸州戦略に就動し

金モールのついた制服変を見るとなにかスカンチナビャあたりの証

六月〇日

ないがこの回船も北洋の際限には木の

れにして

ある・

「狂し変動なる意実がありますが、こへに死て

しい、若き飛行長がそれをおどけてかう説明す 神で漁業保護に出動してゐたのだがね、突城ビ は滑ませぬものがある ある、一度過激火艦の攻撃を受け、海中に投げ出され悪流の後数出

誰にも讀める國語新聞

一個子はひつくりかへ リコツブもひつ

は代へられぬ式臓質デマの低 る遊伽東を示すに過ぎなくな 然し、わが國民が最も注意 われ等國民は**敏まで戦**はさる に大戦戦が**個**行中である限り を示すに至つたとはいへ、現 べからず、

五月〇日

いる運輸は北部には待つてゐない

午前十一時、左較に四頭、右較に十六頭 の関が細をふいて通り過ぎをといふ歌

『鄭楽の場合は外に料金月三・田刊小型四ページ

干銭(何れち

V

前金 同一会り先に限り五部をは同意 定**億月三十錢**

ふ發行

社報日城京

の贈令一下、この郷にのに 冥新しい作家語一つで 水兵さんが甲板でをぶくしの路郷身をつけ甲板に上つてみると『鬱天甲板ばけ』 **ピつけ」と近氣のい、駅令が膨内限なく響き渡る、七貫率もよりの武き揺躍起、駅令といへば、夜に入ると母戚のやうに『教観』**

まるのが高であつた『敬徳配置につけ」の上の二字『敬徳』がとれ

『配置につけ』の戦令となればほんもの、戦戦配置である、

眼は

悪のことは今更いはず、ミ マワイ 直珠酸のこと、 珊

好むと好まざるとに抱らず、へるにおよんで、今や米英の 州にもわが潜水脈が眼壁を加

野が米英両三頭の財職が後旬けざ まなる米、加心岸の 要であつたのに對し、今回の解

機遇緊語を發表してゐる最中 統領が氣休め的な、いはゆる

のである。 のである。

職大把声たる 水域に、

今となって米英海軍の質力

見る眼も或れな似で、

関も、関令米英の悪軍が無

說社

更化

戒むべし

艦が彼めて攻撃した時、米大のサンタパーパラをわが潜水

めた数る損害の節題から割へにおかて、相次や脳触國のた

ところもなく落日の運命を早

からしめるのみで、既に図内 ために米英共に幾何の利する

つて来つゝある。

Ξ

大西洋において、地中海

割の必要がなくなって來をと での将来の見透しは、弦に質

一院の海軍委員までが、

あ」と航空を駅の低が弱風に流れる。 窓場など歌歌も思となって月の 光に見分けられた『めの夜もこんない』 深く聴されてゐるのは『必勝の計』そのものであらう、旗艦はその一 のは彼の飛い北方作戦の世出のいい議別です』 野だ、OO神の『あの女』に敵を駆滅した歌僧に翻ちた墨だ、 『うちの長官は天氣運がいいんです。こんな解かな脱に出進出來る りだした、長宮は歌々としてゐた、 だが大作戦の門出だといふのに職場の、また職内の何といふ説け 田樹である、巨脈はゆるく

歌声をした、以下は無影響の頭の北方作戦進電記である。 は起ち上るや 復陣よく 米が 戦前 誇稱 した對日北方進攻線を促情なく 没滅、アリユーシャンの諸振點をわが基地として逆にアメリカく没滅、アリユーシャンの諸振點をわが基地として逆にアメリカく没滅、アリューシャンの諸振點をわが基地として逆にアメリカは起ち上るや 復陣よく米が戦前誇稱した對日北方進攻線を假情なは起ち上るや 復陣よく米が戦前誇稱した對日北方進攻線を假情な

は司令是歌、客源長、職長、司令歌舎謀らの職もしげな機職が影響出職は美しい議月の夜であつた、われくくは職職に立つた、そこに 旗艦〇〇にて五月〇日 温暖など微塵も際にぬ石々し な湿さでめる。そして『アメリカでお爺さんと歌を墜んであるやう

も勇敢がやよ」と明るく微笑した ほど脈病ではあるまい 記者の脳裡に強く迅激づけられてゐる、その話が何を意 して或は諸所方々を眺かれても出てこない

> 準備の関令に徐復す る『煙草欲引け』の混合がから

れた、風が太く眼の大きな盗誤長は心もち首を腕に引な しい限りだ、こんで今次『東太平洋作戦』の機略を聞かされ は参謀長塾に呼ば

である、康職〇〇の機働長が掘へに来てランチに乗つた、ひどく路

(Z

會談は我潜水艦のカ

響に離ばれた〇〇の山々が見え出した、郷い題が海面すれて

面南居北

輸送船〇〇にて六月〇日

じが飛い、見るから温呼な〇〇攻

の話である。上甲板でピューピュー風に吹かれながら参謀長も懸つの話である。上甲板でピューピュー風に吹かれながら参謀長も懸つてゐた からない 語ので編 一月が一番ひど 場げた、輸送船〇〇丸の船内は 移つた、〇〇丸は間もなく錯 部の命令で悲たちは異

京之浦電氣株式會社

いです、一月には慶は一度しか飛ばなかつたですよです、風邪四十五メールなんていふんですからね、

真多職上に出ていを開くと開いたいが繋がらぬ

戦雲漠々たる南方最前線の現地報告り

憲法·行政法演習師 の解釋に闘する弾艦知識」は沈輝一蹴の解釋のためにも重要な示唆を與へる。前後に関いて憲法及び行政法の主要なる問題を提へ、犀利なる施理と顕彰せる前をに関いて憲法及び行政法の主要なる問題を提へ、犀利なる施理と顕彰せる

出陣の夜ずでに敵を呑む 将で設性した、期主職、枯れた順手 われく、は田臓を配づて葡萄器一 に成れりを出瞰の夜の印象はこの 観別は職員であった『わが事す へとたが願ふのみである、出陣の 古別なことでや、こちらは寒いかの長郎はしない整で『貴方達も御 | 脈和を引がぬやうにな!| とまる 1/2

北洋の狂瀾怒濤を衝

のが北方汽車部隊の初陣

! 島列ンヤシーユリアむ恃と路攻進日對が米はず指目

実つた、『どんなところで ありますか』『○○時間を 脳から敵基地まで何 は越せないことはない』 か』『無木帯だ、〇〇

出来るのであります を一当がでありま

れ、前線に出れ、前線に出れ、前線に出れ、前線に出れ、前線に出れ、前線に出する 強定の如ぐ 地

維

武者小路實篇著 假一·六〇 送·二〇 图6判上版三一六頁

る和時計の重要性を明かにした。いて、整かな史實と貴重な寫点をいて、整かな史實と貴重な寫点を引き、

日 本 評 論 社 新 刊

人東亞經濟建設 本位田祥男 著一大東亜標準地震の新藤順を力強く確さ出す。 「中に簡単する著者は現下解決を急がれる諸川道を 「中に簡単する著者は現下解決を急がれる諸川道を 「中に前世する著者は現下解決を急がれる諸川道を 「中に前世が表現でいる。会・100 「中に前世が表現でいる。と・100 「中に前世が表現でいる。」

・ 一人 光芹 光芹 一橋 雄崎 良澤

郎

辰野九紫

劍士

牧野英一著

山口隆二

新「地政學の理論」に於て地保 三二〇 送・三 例 ・三〇 送・三 例 ・三〇 送・三

政學研究

振替東京一大番東京原稿三ノ四

母破炎上せしめた

南方へ潰走、わが陸鷲の銃爆撃下に片つ端から潰滅されつゝある南方へ潰走、わが陸鷲の銃爆撃下に片つ端から潰滅されつゝある。東京は、五都などの敵陣を奪取し引つゞき戦果を擴大中間間別武義南方の嶮峻を衝いて安魔溪谷沿ひに南下したわが麗水攻撃部隊の先鋒は二十四日午前門河の敵前渡河を敢行五峯山、五都などの敵陣を奪取し引つゞき戦果を擴大中間別別で東京というな然悪路を言して南下猛進をつざけてゐる、かくて魔水の命脈すでにきはまりその陷落の北方地區を制壓しつゝ炎熱悪路を言して南下猛進をつざけてゐる、かくて魔水の命脈すでにきはまりその陷落の北方と、大口の大平道の東京というない。一旦の東京の政策の大響と切り底間がある。大口の東京の大学は大田の大学により、東京には、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学により、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大学、大田の大学、大学、大田の大学、大学、大田の大学、大学、大田の大学、大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大田の大学、大学、大田の大学、大田の大学、大学、大田の大

英ソ間秘密協定說

わたり大學銀翼を連ねて麗水飛行場を意義し飛行場その他の軍事務施設に巨彈の雨を降らせてこれを徹底的に注意、重地水飛行場を意義し飛行場を一條の進撃に呼應し二十三日午前および午後の二回注。 (〇〇基地二十四日同盟)わが陸鷺の精鋭は地上部

対型された、夕殿が出た、立つて腕帽した。腕しけ空葉が高れたの時、七郎と高線帽貝の屋藤を蔵載さは正顧に日敷加と面敷

を入れた郷郷と水間を提げゲー 六月七日

う前にして都下の身體を、また大事な舟 『前方に機雷なし』の吉報が齎される、他様に下れる、わは人類ない財徒でがきながら拳で弱を絞つた。音が聞え出し〇艘の舟艇が頭舷に下ろされたい郷海子を登つて監に願る、からいらが中、心下は立派に | 台が聞え出し〇艘の舟艇が頭舷に下ろされたいが海海で繋ぎたのた。時点のひとかぶつた。 音が聞え出し〇艘の舟艇が頭舷に下ろされたいが海海で変した。 というはつであるが、あわただしい北方の繋が高代りに記者(小路に留つて 電源な影可上弦の 野腹部線を行うた、 にゃらはつであるが、あわただしい北方の繋が音に疎え壁の数を見くに暗に留つて 電源な影可上弦の 野腹部線を行うた、 にゃらはつてあるが、あわただしい北方の繋が音に疎え壁の数を見

アリューシャン攻略從軍記 に心脈へ助つとる・御苦噺ぢゃったーとおつしゃられたのがなに 一面よ

天佑波濤も凪ぐ

六月〇日 第一個 地のた アリュ



下漢家の雄叫びであつた

北洋区嚴、大軍艦旗

年周五變事 輯特念記

本学祥の南北に原来集がる時度事大陸を原本ではならぬ、この現状と苦闘を見よてはならぬ、この現状と苦闘を見よ

真窪

杉川

中

支の新作戦を觀る

六月九日 〇〇攻略部隊の 艨艟

そころ は関

・防空兵器の話 長谷川少將神 經 戦 物 語 | 日本 | 四天王中將

全の措置を怠りない、一方木もなく花もなく道と

き生

, O

梗物

語

舟橋

聖

まるで観形のない彼らなのだ、彼打職につき立つ

を挑へた

航空母艦の戰術

はどうなるか座談

}會

潮 社

下変更な 学校会記公告 1 学校会記公告 1 学校会記公告

| 所和格と単方月 ((特)日間が | 日間和力力|| 一個方面に | 日間和力力|| 一個方面に | 一面面に | 一面面に

意義に

國照・海ノ藝安響機構

語物機銳新最界世

來以京 錢拾五 價

膝も没すツンドラ

勝利を続りか、る総長に指揮される心下の幸福を取るのであつた

の蜿蜒にる列が黑い帶となつて知れる、ふどかりかへると連なる山水の

初の獲物捕虜

六月八日

いはざわが

する日本円 この仕組に各地域はい

れらの點

早くも太平遍に突入

が、敵算を亂して潰走

要衝魔水の陷落目睫

しかし泰國の財政經濟

友邦日本の 大刀となる 円資金が即

間の数字

溜本 浩

泰、通常議會 青のふ

についた瓢波の瀬々長アッテイ版 【東京電話】東條首相 首相決意を披瀝

文那事変記念日を念ふ

名稱位置 地方事務

上質相は大東亞酸に紫癜する決意を重ね、八時すぎ散會したが、席

:

南方開發金庫

Æ

山郎寅

共榮圏の金融政策|常波|原馬|原馬|

の指収極めに関し、説明を行ならびに借款協定など爲野上 の決綱を円で行ふことへなる

産金政策は不變更点 質疑があつたが、これに對し を行ふことになるが、そのとの決測はすべて円でこれとの決測はすべて円でこれ

めと同一方式をもつて進む方の階地域との決勝についても

政策は目下のとごろ機能する。他つてわが関連金である。他つてわが関連金は必要なほが年程度の企金は必要なほかにおいても

セバストポリ陷落寸前

関金戦闘中であつたが、來る七月・國石地の石吹丘、南海越海通のでは緊張問題の鶴山閉路万を喰じの石吹三、原命の鶴窟四、南海「國東士四日同盟」脳東省的位。

南海縣園頭の石炭七、南海縣園頭の石炭七、南海縣園頭の石炭七、南海縣園頭の石炭七、

南支の治安圏愈よ擴大

獨ソの攻防、悽慘を極む

鷹連鑛山開發

モロトフ外相否定す

所 を検定を明した を検定を明め、

拿批

林寺

月春停車場 **風託磨原**(引:1) 金大

◆價四十錢(麗 競博文

腑甲斐なき戦友には

武器の援助も無駄だ

トブルク美路米の不満爆發

メリカ臓の全く墜想しない事態であり、このヶ野中萎なき戦友々

容的に大腹斑を腕後なくされ第二敵腕や対メリカ軍勝もの一部を診臓 である、而してワシントン飛腿垂腕の鴨獣によればアメリカ殿は右、もリツチ帯軍は弦を排動でこケ馴のを高いたのである、それでアプリカイギリス低型化に削する問題を襲動にまればアメリカ殿は右、もリツチ帯軍は弦を排動でこケ馴のをから辿びやつて目下北アプリカ駅戦の原応被誘と北一般は この問題を勝つて 海峡にまってルカイギリス低型化に削する問題を勝つて、海峡にまってルカイギリス低型化の場所を設定して、東京に関するの影響なるに至り容がによってベルシャ駅が出り、一般では大力を影響を表している。

トン外郊界に大ショックを爽へた

北アフリカ方面に撮削けるべく企品しつへありと報ぜられてゐ

チャーテルは鮮めよ。葉は南

つかすとともに国章狼狼日本の進攻に戦々競々の有様であると

問題と時間的誤響が聯合軍をし デー リー・ヘラ・ルド紙 チャーは 公前付けることは 空難 でない 第二 襲線を開始すべき鈴仔の時に釘付けることは 空難

(三) ソ聯は「租借協定」に基き 圏内に含まれる

通行権を確保する (四) 取後ソ際はドイツを含む酸 (四) 取後ソ際はドイツを含む酸 があるびにパルガン階國に剥す る軍事的、政治的制御力を獲得 する

ン哪は「租債協定」に張き

する軍事的部院も解析されてゐる

英、屈辱的讓步か

對心秘密條約説擴まる

未知の水路を遡行

豪膽!支那人を裝ふ部隊長

| 高塚部隊の殊動

乳のより

出る素

が ・ 大小で、 ・ 大いで、 ・

城 上版 上版 服職 大阪 完成

安全东道出張商 京 城 支二 京 城 支二 関する 支 店 松 芸 麗 社 公 芸 麗 社

道索全安幕 易蘭設建鹿低格攬 星遊鋒型 工工工 供提稿見 : 1

四線の領域しを制持な申上げて居ります。 一点の領域しを制持な申上げて居ります。 三京間會内 三京間會内 東北 一点では、東北 一定では、東北 一定では 一定で 一定では 一定で 一定では 一定

定備一・八〇

・ もの 「一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の表生、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を終め、 一般の影響を放射を 一般の影響を 一般の 一般の影響を 一般の 一般の影響を 一般の

變裝の

大川挺身隊活躍

うなやつを跳にかぶればどこか

敵將の首を狙

精神を體得

受験同厳内の西山町をはじめ附近 道場特別の神事行事、家庭歌事の の史蹟を見算して強期以上の結果

概略の影響を示して粉砕吹歌 たが知覧器後のうつもやり却 たが知覧器後のうつもやり却 たが知覧器後のうつもやり却 たが知覧器を輸ぶ今 像脈力・計画図に根垣割除加司 の影脈大力が儲られば身山の 式をもつて目出度く気域場所 製をつげた

東京 中央 では、 一大 では、 では、 これ では、

てゐるが、この飲成會は四泊五日

C

學生の錬成 期待さる半島

半島青年に大和魂

内鮮滿の有志たちが麗しき協力

〉王//ボー

□.供小るが伸 本日みよ 崇

研究 所薬

京城に皇民道場建設

相談したところ所信地で

生態成會は大日本精神一説間、観察作業など記述観をうけ一成會は來月十三日開闢の豫定

是とする医奥跡の活躍はまさに今水山西、何北、河南三省。欧の心臓を繋からしめた大川桃吉中尉(栃木鰕出泉)を除 こべく支邦限に身をやつし手榴戦を拠へて敞中級く潜入、10元音南部〇〇にて二十四目同盟 | 職將訓記承を討ち取

中でこの庭場隊に會ふことが出來一隊が基地を出發したのはさる五月 ととは、そのすべてが並々な「那版に支那船を敷きスキー螺のや「ひこんで郷先道教内の役を買つてどろ」くによごれた奥珍、火 甘目の日、海後九時ごうだつた、支 「大人」 劇談員を八段事と思いています。と言ってし からずも大行山脈の興民一ちぬ辛苦を誑つてゐる。大川匪場

一蹴を後患せしめたのでこれが影車 の間に孤立するの危機を概ひ得た のであつた

の進撃を阻むこと四日、ソツイギリス軍は地上、空中ともに

て來た人だが、今回贈兵制の梅

年とし、機作による心線の際

掲げるやう化合しすでに軍人軍艦の家族は全部配掲げを売了したと孫表してある。これは珊瑚海戦。ミツドウエー海戦と相次で大ワイから最近京域の駆所に入つた戦後によると同地の防御軍司令官エモン中將は最赤軍人軍艦に施の全市民に割し限かに不滅へ那 打磨く歌戦をひた際しに際しつずは「皮質神輿の官僚を お配似の喉の皮が剝げて臓民から不信を買ってゐる。 鹿構放公に常身を やつしてゐたアメリ **団た西村氏を訪へば次のやうにひ**

ハワイは安全ならず、『紫色型で

部隊を派遣中であつた

の数の空陸軍輸援

を惜む千秋梁廿四日は夜來の「藍出場廊施力士」「遠ノ記」に低腕度高場所入日間の欧鵬の名「職職は萬森の儼黙を唸らせる、半 照國に優勝太刀 **敵闘の京城場所千秋樂**

市民の本國引揚げて敗戰暴露

は取進み午後二時半十枚目十億入

世九日午後一 光州電

耐製鍵松音田育

・ ほ戯き患患さな効し絶を法様治るゆうあ よれらも調を膨出的唐傷すて格を製布の・

クッラド田首 の地名国宝

中間病が

高塚原展 は単身艇を誘撃して、

「リスポン」十三日問題」ロイタ た六月二十日までの暇然に購する「戦し得たら経識を敗骸に回し得た」リス側首相アトリーが二十三日の 報告によると既が最近の働してゐ ギリス軍もまた既れてゐみすく、「リス側首相アトリーが二十三日の 報告によると既が最近の働してゐ ギリス軍もまた既れてゐみすく、「リスポン」十三日問題」ロイタ た六月二十日までの暇然に購する「戦し得たら経識を敗骸に回し得た」

英國敗れたりの辯

取前進記 縁包酸計畫に 對しナイ

宮オヒンレックの報告にもあるな、地略でイギリス大月一日附のイギリス駐出軍司令 ツ・プリッチすか

ギリス軍にとり不利であつた。ま、リス軍が敵のどの戕難に乗じて攻 |旺盛であつたが、暇況の發展はイ||地震原に突込んで來た、若しイギス年の野気と七葉は依然||墜を試みたが願望はイギリス軍の

建設限くる

θ

出でまするは風景にいどむ谷

この風景にいたく画家した時の釜

※別記見所まで開設し本年三月 歴史により立傍ら、幼稚園を設けて小作舗としている。幼稚園を設けて小作舗といったが、幼稚園をはいていた。

果西、とうざーい、めらはれ

等に願心と「聖道教育」をほどこ

無名の人があつた、それが

極速やら豊富田田の難ひやらその 行と作業は加に整然たるものであ

巻の北慶

んのこと、行邦夫人や何々高の

韓田純氏のその昔の姿だつ。

製造方面(() 美國はフインランドのカレ ・ サナビヤの 一郎、チエツ コス 「てゐるものに高歌部略がある、北が勝せる」の事實は成ひ得ない (二)フインランド、北部スカン をなし悲狡不眠(木の活動を繋げ

で大打撃一はソ職に對する英國の曲等的職長

ます、いつれを 見ま しても

れに里面が上りまするや、レ をいるでは、 神のないの 間に出む上る兵站基地朝教

かたや人の再生

最後事で聖職を続びます

小類の瞬一曲の天

は多度内部の日 日痛経利りのたか は無毒虫の虫水と目や

では異が解いとの先十間はかり

部間に協議しな 関型を想物が本 関とも生帯りに の電台に止むな に混合せた意大に に接き載つて實

人的登城排底の社會 使しを飲煙し、天曜

歌がいた、 墨木 からは がんの 機 村 が 人 を 収容・ 関語 音 旅がいた、 墨木 の からは がん 夜 郷 か を 明 き 現在 百 方本職には本年一月から木丁部

た。そこで田

こなた、米の増産



HAS ク沖脇

k). i

と明を別きながら々お米は元

自動車は切つても切れない代 ある

として戦会運動に傍目も撮らない風撃な概へを見せて内職陸軍隊衛門長職を概長にして内職學徳打交る一學級が興々 歴に概を吹き込む関しい住話がある 月掛献金~驀ら 「昭和工科學校」に揚る佳話

> 昭和二科學校では廿八日府民館で舉行 午前九時から位民館中湖

ラス員學つて

病む孝行藝妓へ

丁目は勝撃で暴行、會場には來公は廿四日午前九時半から同町 | 分會發會式 |

めになつた選札切手をお調のになった選札切手をお調 の、彈丸切手、 六四〇の二校が千円の し渡れて欠争して答って 清子夫人が推塞された【寫眞=一時防密した 海子夫人 海子夫人 一切らうとした同町四四二本府畜 京電幼兒を轢く

優勝の榮冠は

のうちに千秋窓をつけた、全脈者の小臓配相桃大會は昨廿四日常祝 は全原年を通じて五人、八腑一敗 力士の禁戦を見せた本社主傷を配上の特設土俵に購天九日

(龍山) 常包 (智葉) 大山井)

・坂東君のやうな心がけのよ

が射元不明、悲愍の心中と見られ

◇……歯の人気を集めた◇頭別 切手々は拙厳で の種をふりまい







質しい線を明けるため 自ら紅色の毯に身を眺めた 季行娘 14。 一人の世の感謝を買つてゐる麗しい人情美数がある が病臓に聞されて苦しむのを所轄署の保安主田と抱主が高

「南郷番」「東坂等丸こと村島君子」「君子さんの教権方法を無限し

ス員が疑って月頃

欠伸する幸運

配給諸物資の不正入手

新醫學博士

鍾路署が斷乎取締に乘出す

野) 作夫人 (府尹夫人代男) 及び

機場内科敦室大調発氏つむは

で伝近時、質問のぶ一気として伊達夫人(知事夫人代

歌なさい。 とにからいふ ものがあるの



朝 六・三〇日本世界観へ ロラシオるの話

大地人同住宅を創世話編度して出たる。 を求む家員百圓迄の

特别案内

悲戀心中か 溺死體漂着

他人昭和护七年五月拾成日重出 村台之東 田台及第四 村台之東 田台及第四 大日会記

本事務員募集 京都所謂了 東京)四人会 東京)四人会

河楓町一と一八五版局家へ譲る。

東質若劇

店支城京 **党番四九一目丁**

高價買入

根拠では、大学の関係を表現である。

大賞家を求む は 2000年10日十二番地 日本鎌美郷支社 田村富新と郷郷を育っを 世代に 日本鎌美郷支社 田納員募集 出納員募集 出納員募集

大学は一日本二十二人

城 H 報行 舭

宮本建司君(+) ^ 『小國民相撲大會』終る

金勝五人披(又は三人拔)七度(風勝) ▲宮本建可(龍山大年)











くなるが、それはどういふつも

- 歌は生命八百六十名が参一四日一千円を職つて司奉祀の社會 関係教会と署出したとはなつてゐるが、身家、祖民子身以常の果然事践に對し廿、で十円:十二銭を東大門職を通じとになつてゐるが、身家、祖民子身以常の果然事談に對し廿、で十円:十二銭を東大門職を通じとはなってあるが、身家、祖民子皇子身子という。

ー千圓寄附へ

献金奇託へ

鄭さんの赤誠

を毎月献金



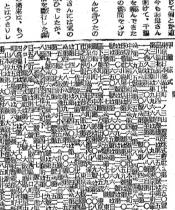
貸衣裳

世帯下さら、姓、名、在、武・大大・町泉原間は牧事の出来る所お

| 11-MB Y CA ** MB (*Ca ** MB (** MB (*Ca ** MB (*Ca

を間はず一家人のは質問を求む認近













コール四日より二十日本で 文化光順 海 雅 文化光順 海 雅 ニュース 大映作品 山 参 道 大映作品 山 を 神田 一世 時十分 第二回 七世 時二十分



		18 9 M			Gunday's	-	•	
女中介書は御来談を気	本人持条では、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	宋凡 京城黄新三十自 生 命	高船支給、希望の方は來院あれる。	雇人人	料金は続て即金田の田田の田の田田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の田の	大阪大の大阪	科 金 克(银公)	京日案内
Suts C7							F.F.F	J
4日本コース一〇六級	君は操縦者に東東文化映識部特件東東文化映識部特件	が単一世	京都水瀬田町御組成 ところ こうしょう しゅうしゅう しゅう		(書間)短篇映画與行料金八十段四一(音共)	3、海風 温 一貫	の花	樂劇傳新世紀公園









リー両属も自己の原盤に指入れ米州の単位単紀を備らんとするもので、大都左の関が増近の政治領軍事の後款を適同し依然中立を製持してあるアルゼンテン、テおいては駅ら米州内の財政網底総額沖職について短話を加へる摩定で、これは米のプラミがある。

點について樞軸國側壓迫の專に出てもそれまでこれに立政策にかんがみ他の諸國が同會議に於て右の如き諸立政策にかんがみ他の諸國が同會議に於て右の如き諸をあるがアルゼンチンとしては同國が儼然標榜する中極の整學人供經 1、認以之亦與人統憲ならびに各種懇の響學 一右麻

今度は汎米會議招集

米、對外擬勢に汲々

敗殘赤軍を包圍

▲東部戦線

【ストツクホルム特電】ロエヨロ観カイロ来歌ニリビで戦の歌声歌はデルク 寒眩の歌を酔ってエジブト図像に継ば「ストツクホルム特電」ロエヨロ観カアロ来歌ニリビで戦戦の歌声歌はデルク 寒眩の歌を吹ってエジブト 図像に継ば 「ストツクホルム特電」ロエコロ観カスロ来歌ニリビで戦戦の歌声歌はデルク 寒眩の歌を酔ってエジブト図像に継ば

埃及國境に到達

【ローマ廿三日回恩】 伊取司令部廿三日發表一、 編軸軍先鋒部隊はリピヤ、

國境に達した マト

まで 頑囁に 抵抗した セベルナヤ要塞を とまで 頑囁に 抵抗した セベルナヤ要塞を に 戦はいよ / \最終段階に入り二十二日以 戦はいよ / \最終段階に入り二十二日以 !!

スマトラ、ジャンにおける軍政

六、ジャバ軍政部は現在ジャバにあるスマト

受党。連絡會議の大成果

資交流。各種復興に協力

佐藤大使、

孫殿英軍事實上潰滅

マルタ島猛爆

女

も歸順

|

軍を結成、今後わが軍と密接に闘 長の和平参加により

境に近い郡民職東方の教館地帯に わが門馬、中村 〇【濟南二十三日同盟】山東河北省 るべく去る十二日 各所で敗敵殲滅

現数をもつく東型同盟自治「金銭職を帰職し治安産の職大を置「李家原上において商窓第五十周順以下各部隊を納合一選「昌下収穫中の小郷を完勢せんとす「駅は同日保設北太西十五キロの豪勢を死を作譲してあた大名「隣に近じ線民職東方の豪勢連帯に「わが門馬、中村(設)中山の※巻を加々作譲して

ワシントン來電

女は女らしく楚々と だからとて、矢張り

けは失ひたくない

のてす。

た沸さと優しさだ

いくら素肌美の時代運ふのが本當です。

肌の感じが

まるて

は

に鎌着した。

油)日本府越信保 通) ▲石倉孝一 ▲ 通) ▲石倉孝一 ▲ 越信保健技師(七 本府稅務監督周剛 平官佐野園一晃本 写住野園一晃本 はる電子1~5 四千三日〉 (七等) 命法 (七等) 命法

人

和銀行京城支

一時五分(大陸)

定で廿八日『あかつき』一良氏(総督府第一商工一良氏(総督府第一商工

時の録音

印度急進分子に手入

わが微粒は重々と米本土を観察

國の狼狽は美止の至りだ。の制膨下にあるといふべく、 今や全大平洋水域はわが無

下!に過食!に過飲

銀和"三"

なやぐうの皆も出まい。 が實力の前には忽せ季降されルーズベルトのデマ試版も、 職立証動は着ち

のてす。

時も美しい 素肌だ はお嫌ひ 願ひたい 學的なレオンで

顔でお困りの方は、 殊に日頃ニキビや脂

炎々と考えるトプルタ市有質的

米國民衆全く銷沈

來称一點周米英國民は芝居がかつ

ベルト大統領とチヤーチ職示してゐるだけである

臨時定員制制定進む

● 大阪は大学を開発を受ける。
● 内のは大学を開発をよる。
・日本・

推翻

ور راوا

※事を三百六十五

で成行中には水あたり、食傷、時候の流行中には水あたり、食傷、時候の大便後何となく腹工合の悪い時…の大便後何となく腹工合の悪い時…の大便後何となく腹工合の悪い時…の大便後何となく腹工合の悪い時…のでは水あたり、食傷、時候 と戦闘作用を売酬せる元が主の治療が安全といふのは相て身體に営を総す事がある消化たのでは相て身體に営を総す事がある消化といふのは不消化と饗講作用とが原因であ 英俚 五冷矮 凿 图 樂天堂製藥株式會社

痢シ腹痛シ

もはや決定した。ス

携へて質疑派動

後次だ。 の悲鳴、それがル

7. 元/6/B

0

と縁起の智様で有よる

13

| 四瀬殿治 地パリ勝を一 佐藤水の | パでにおけるコソーの | 現職の推断パニコワンギンは人口 した龍治明媚を三点 | 「スラバヤニ十四目問題」ジャパ | 同に繋がラウンの大に

粗悪品に御注意 れこそ一滴も鱵物油は混入して

映かさすハリバを連用すれ の不足から夏負け、夏疲れ の不足から夏負け、夏疲れ でねよう…抵抗力の强化に

比夏の健康は上乗です。

本館 大阪 大規 形旁睛

育商平丹 专家



(治州電話) 故唐広城長は小鹿島

明朗バニュワンギンの昨今

な、こ、『青三母学』などの、一要校で使用してある正視の歴史 総本の映名鑑のを本析義行の『コ この表音的観名調心は現在職以総断件基券課では定間で使用する 概を出した

教本の假名遣ひ統 國語常用運動に拍車

の歌型院券万をつごけ昨年夫人を「の歌舞と治院につくしてゐたものし、歌朱黙馨のためには文字通り」決めて会力をあげて領の形な患者

弗で鼓舞する士氣

規格制定で

かり ちゃない、女の人の顔で 外線の不足した、これぢやい

★T-24

言えらそ

脂溶性紫養室

カステも…一家そろ

オの研究は

が、それまするでわるお母さ に、子供さんを見て「色のお

低利金融乞御利用 賞與に國民貯蓄に御家庭の貯蓄に 日步 第三回戰時債券

概 智 京 城 二 九

一ノ工ス(黄金町人日)

店

報國債券十圓券へ入圖ノ割貯蓄債券十圓券へ入圖ノ割

簡易貸付

新 首相 (大沼を押し来りて) 南 前首相 (國民権動の第一撃)

紅、市、戲口賞

定價或給參圖六拾四錢(如品別込)

一といこのは、後來陳他感」は駅南龍度が運火たちを他順者と「太**郷下に勝手に治卿のみ眼習東海」**女も窓刀をあげて実に物素に並[る【冨真=所引忠」が小雅動館の時間の奥謝』ため駅南東洋戦に出職ぐ戦闘にな これを保護する連勝力と観音選集。まのたちり駅南連出も週別あば]会理が疾患されることにな一つてあるが、ことに、一年前まで「戦合の総制下に**勝力との地)との**でで、長力により、大力にあった。

こので、 曹賀昭定な塔と夏休みは、棚渕も古古した三十、二月は後巻 出も黄虹するものを単年を譲し慰謝を顕作的を行って打てあたた最近攻張行和の鎌郷・給に實献し、東たは三貫戦目の髪拳単段を開くほか して戦闘より日本漁航の派出が行ってもものと原称さ

土俵に展く攻略戦

戦時休暇 の 具體策成る

増産の波に乗る

製作。帝國蓄音器株式會社協會。通過法人 日本 映圖社協會。 近週法人 日本 映圖社協會。 近週法人 日本 映圖社協會。 近週法人 日本 映圖社 经营业组织。

後も、虫の無がる若が水く上に残るできる点も本解解物の効果である。減的である。且強い激離力があり植

デリス相

虫菊

油

を知つてゐる私には一つの驚鬼これも六年間の殺風歌な新京の

新京に旅して

にて、木村特派員、第五、際日が素質にその由歌記のなかににて、木村特派員、第五、際日が素質にその由歌記のなかに信】をの実際をもつて歌重されく。この歌元では共同で東代の金高伊部の本場、本嶽港和解村、陳郷さを示してあるかと称つたとした。

一 学な手法などによく類へる。 便全 半生の芳願を諄々と黙る場面の重 ・

京日歌壇

安産のために ワタカルシューム錠

大統領第二第「安全のために」 野子海島

NT.

質力を遺憾なく發揮

陸軍戰鬪機隊を語る松村中佐

洋々たるわが前途

江原青年に集る讃辭

心臟。胸。胃。

抗病ホルモンを増强して病因か

今ぞ高し・半島若人の譽れ/

ら手當をし、芯から丈夫にする







キヽメ火持の一番よい

を信から、線



大學·陸軍病院御採用

國

エングイマ

吉周英治(作) 矢野橋村(書) 志 [836]

r顔洗お にり剃髯お

シセ七十七円一 🛭

無代進星

